



2012新潟大会(3.5MHz)での 私の判断と行動

2012年5月26日(土)
於 新潟県長岡市

安島 巧



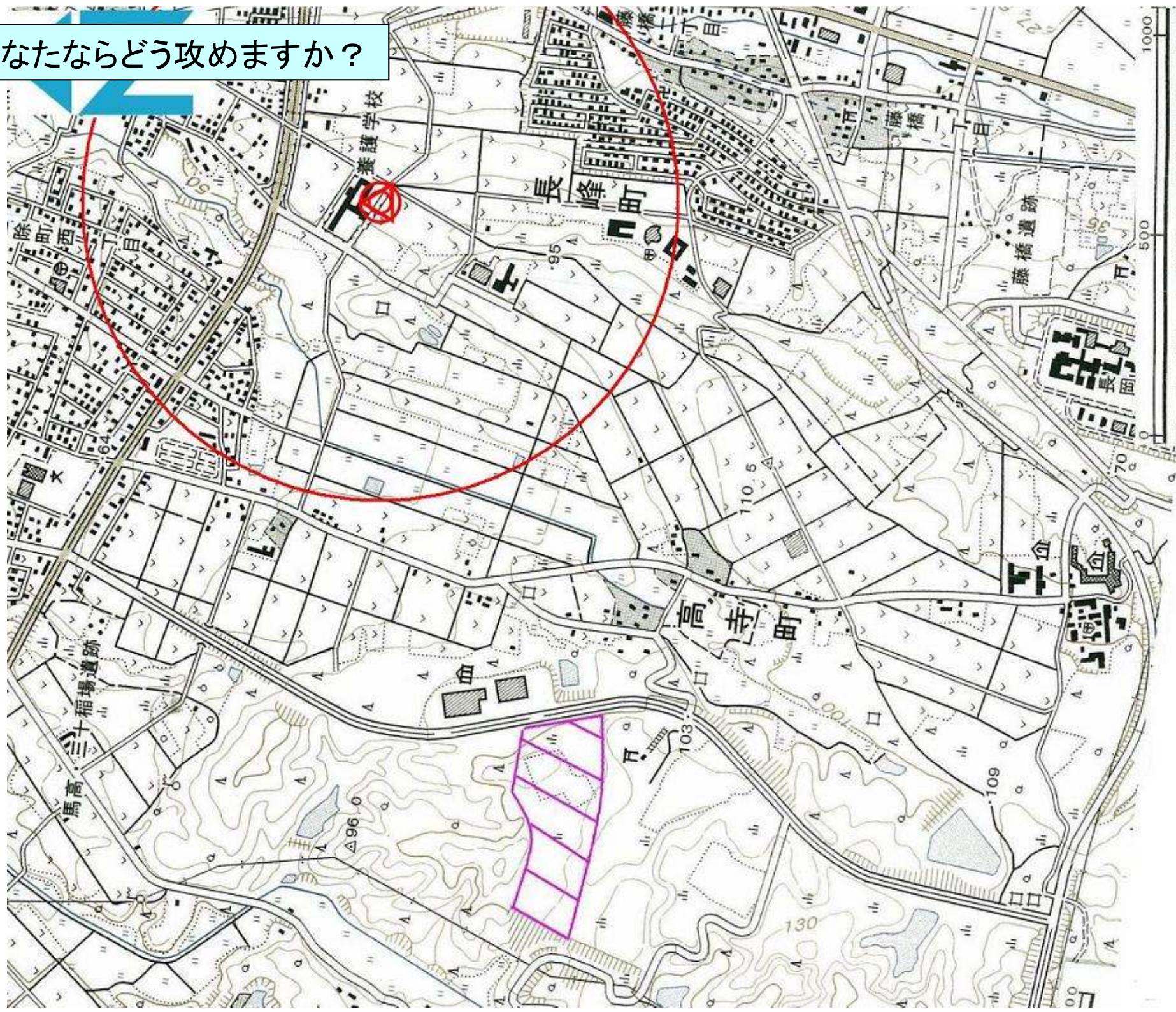
初めに

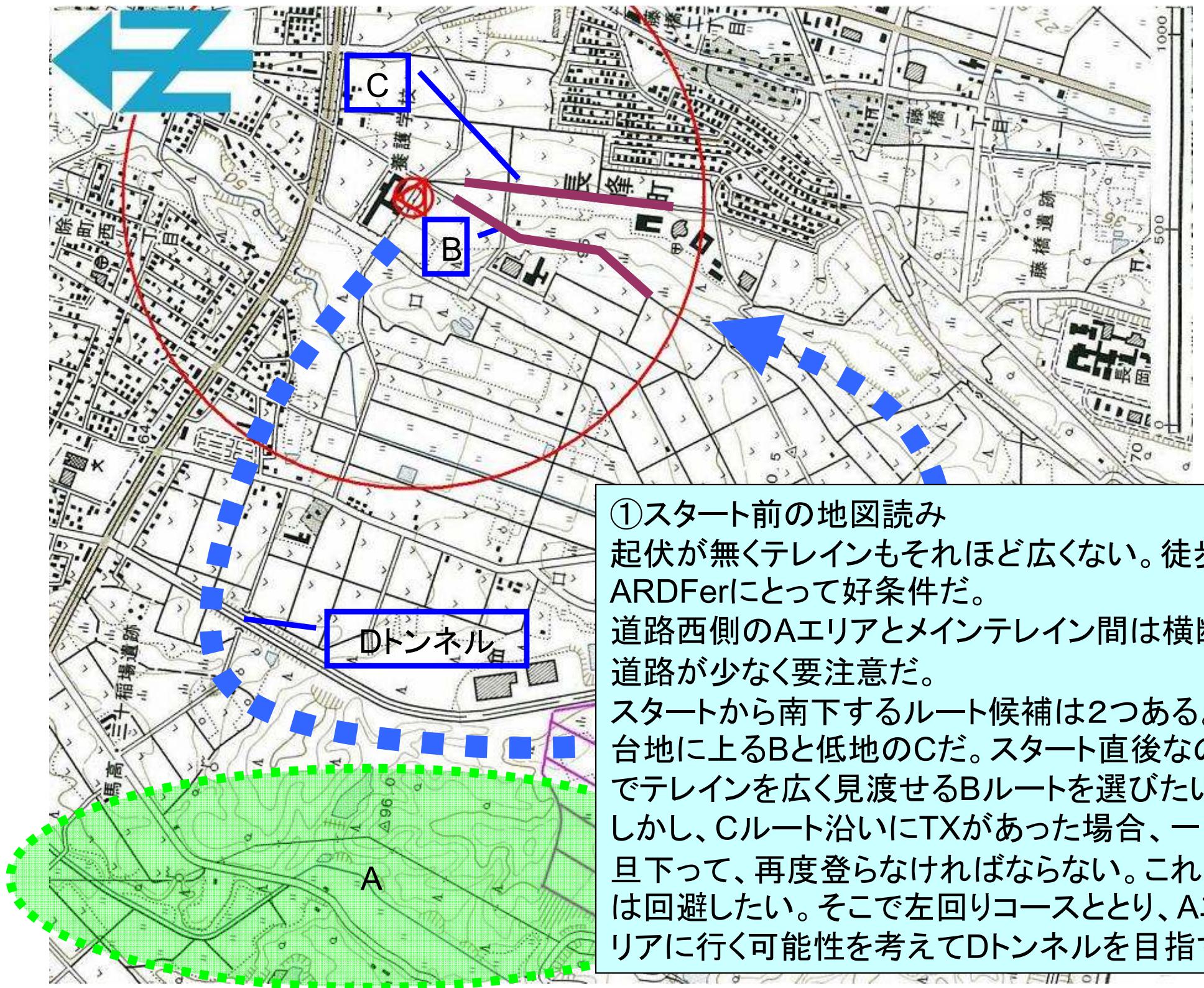
このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さん役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？

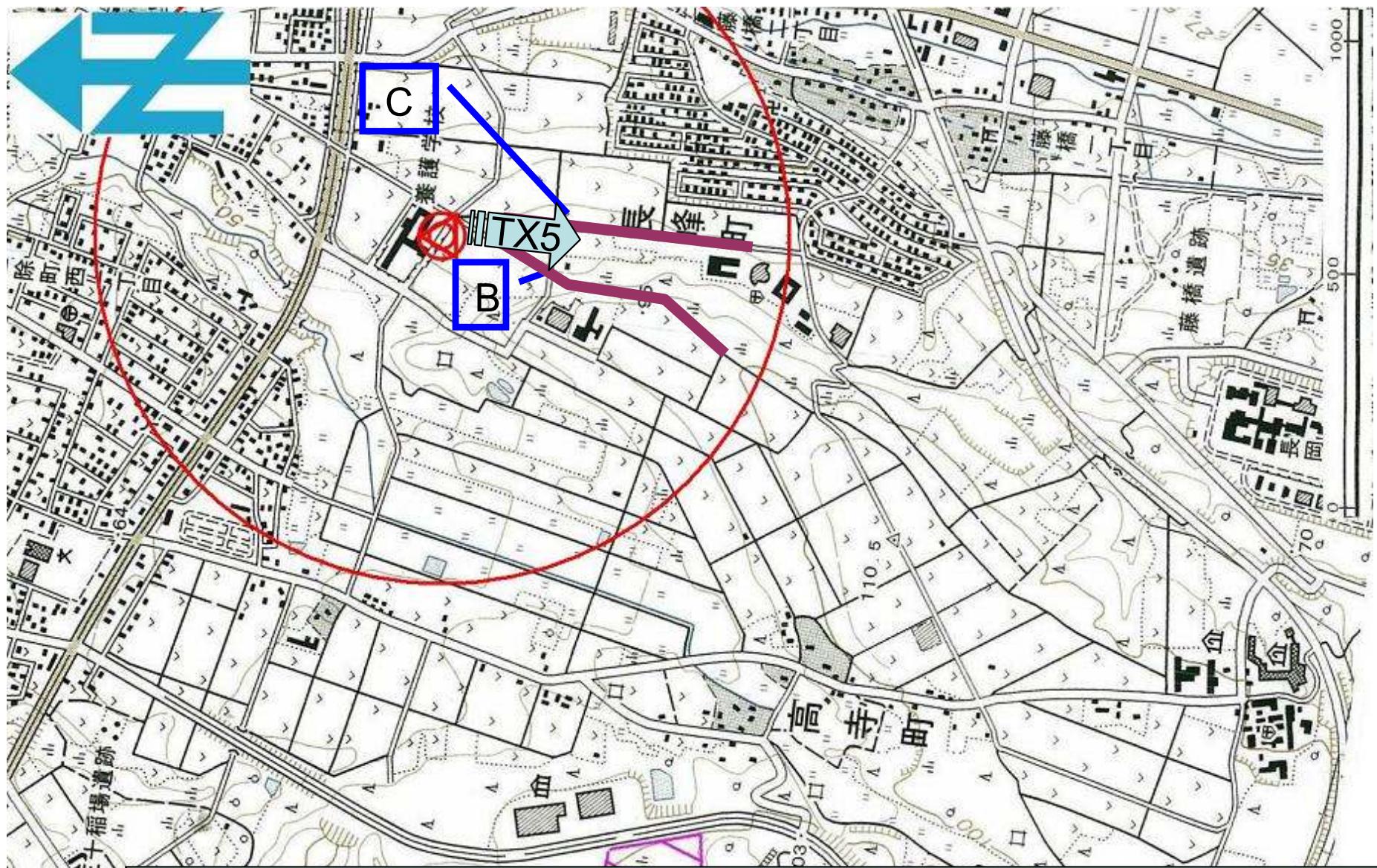




①スタート前の地図読み

起伏が無くテレインもそれほど広くない。徒步ARDFerにとって好条件だ。
道路西側のAエリアとメインテレイン間は横断道路が少なく要注意だ。

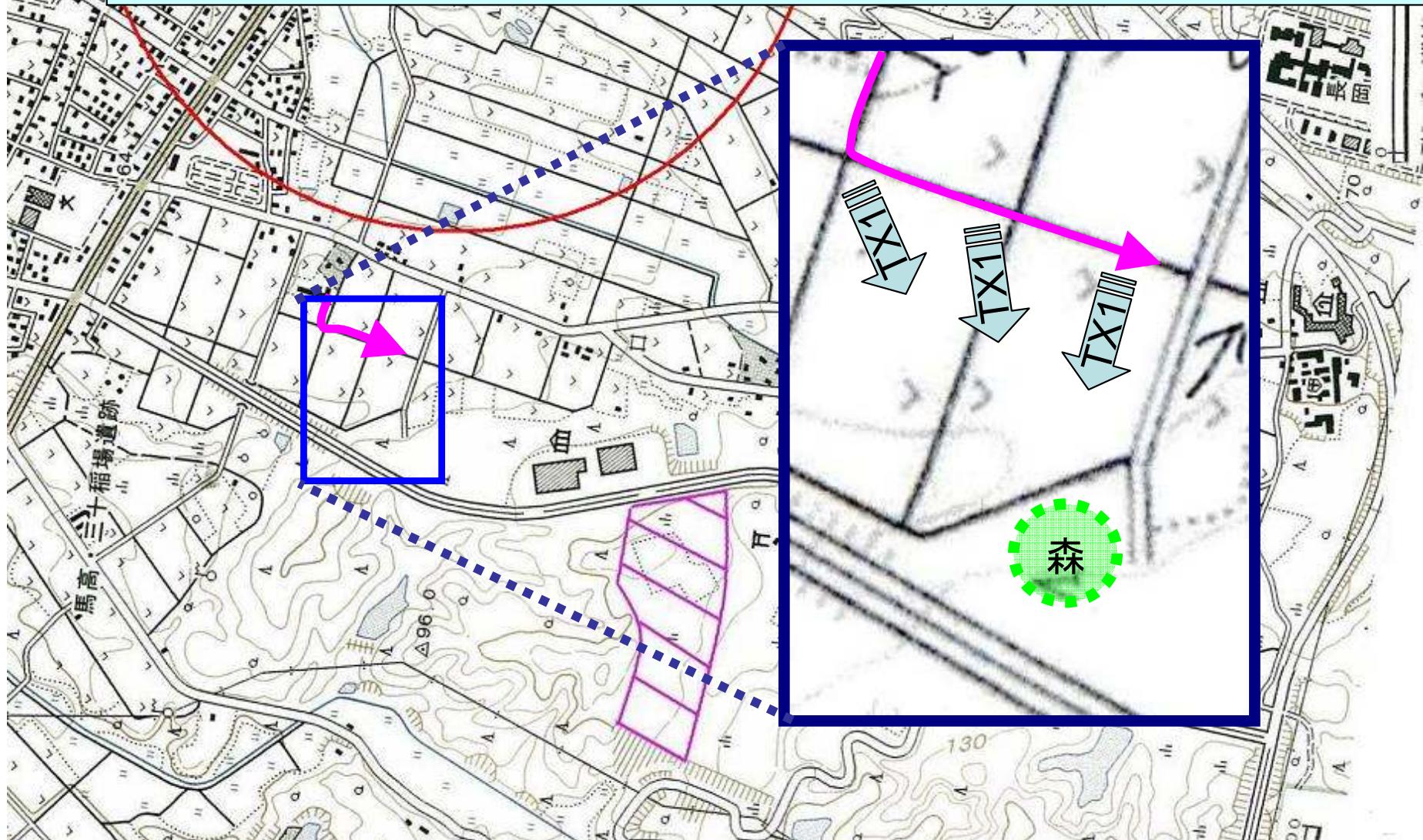
スタートから南下するルート候補は2つある。
台地に上るBと低地のCだ。スタート直後なのでテレインを広く見渡せるBルートを選びたい。
しかし、Cルート沿いにTXがあった場合、一旦下って、再度登らなければならない。これは回避したい。そこで左回りコースととり、Aエリアに行く可能性を考えてDトンネルを目指す。



②探索開始地点
TX5はスタート南方向だ。Bの道かCの道かはわからない。やはり左回りだ。



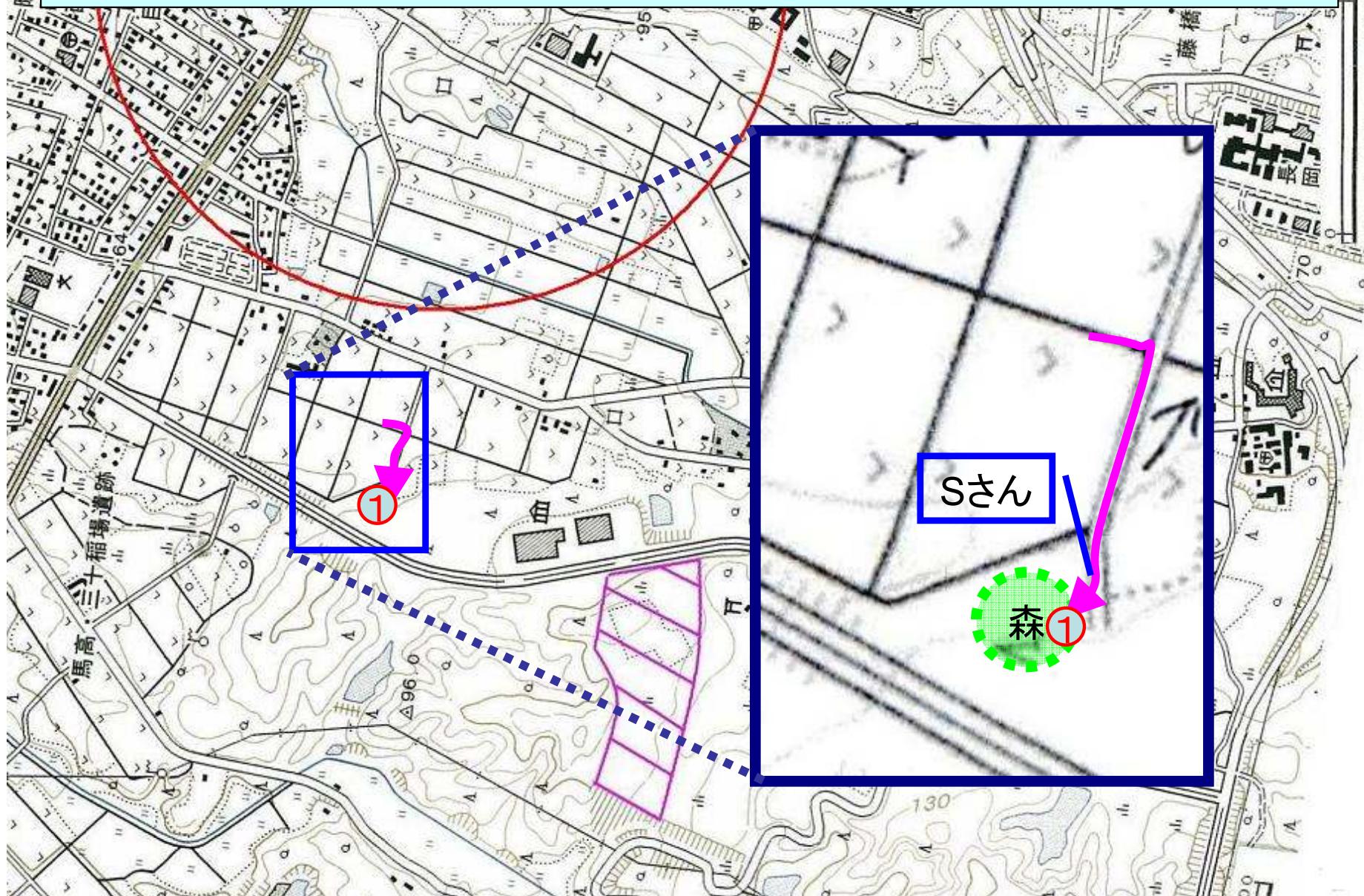






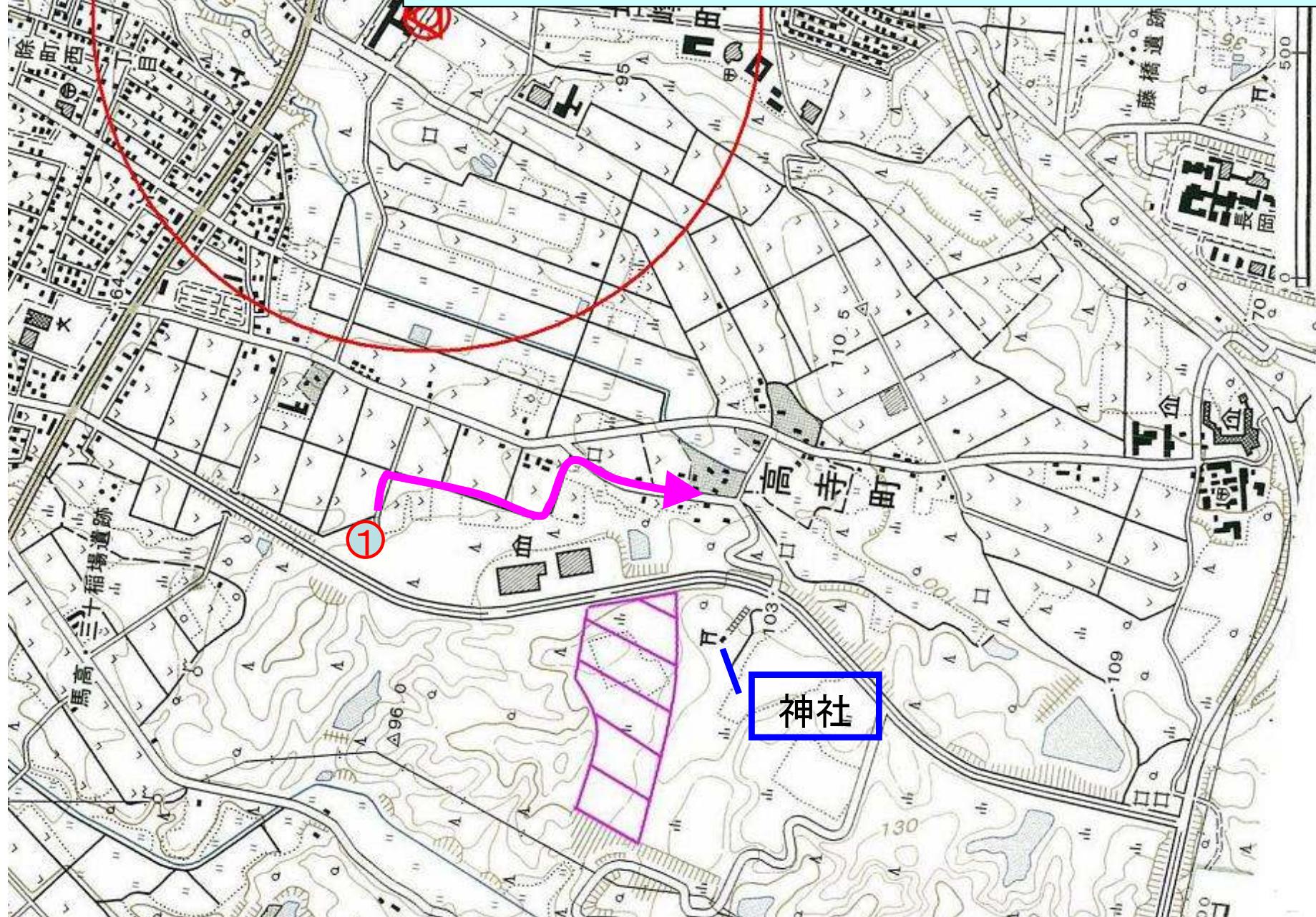
⑤ TX1

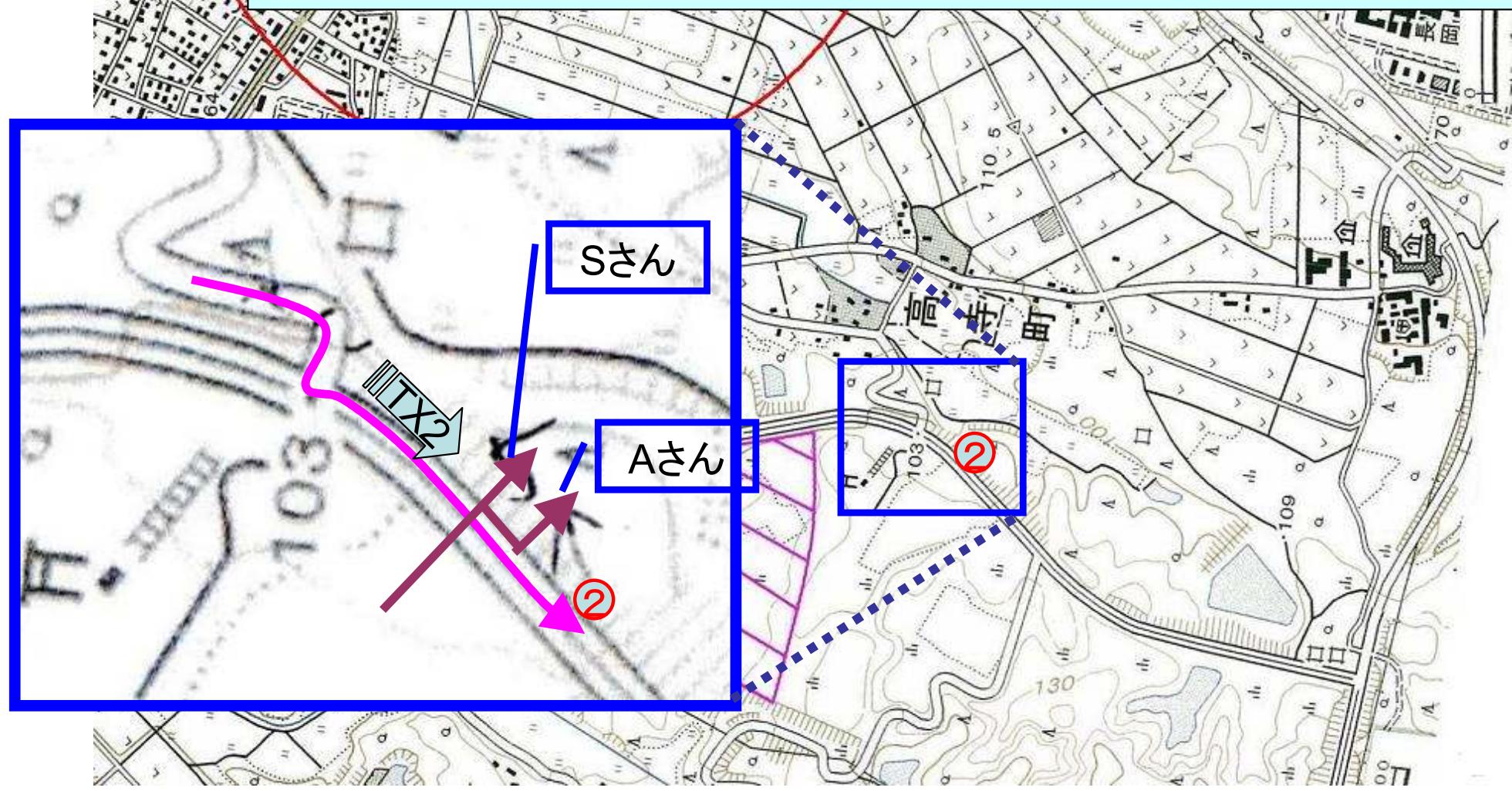
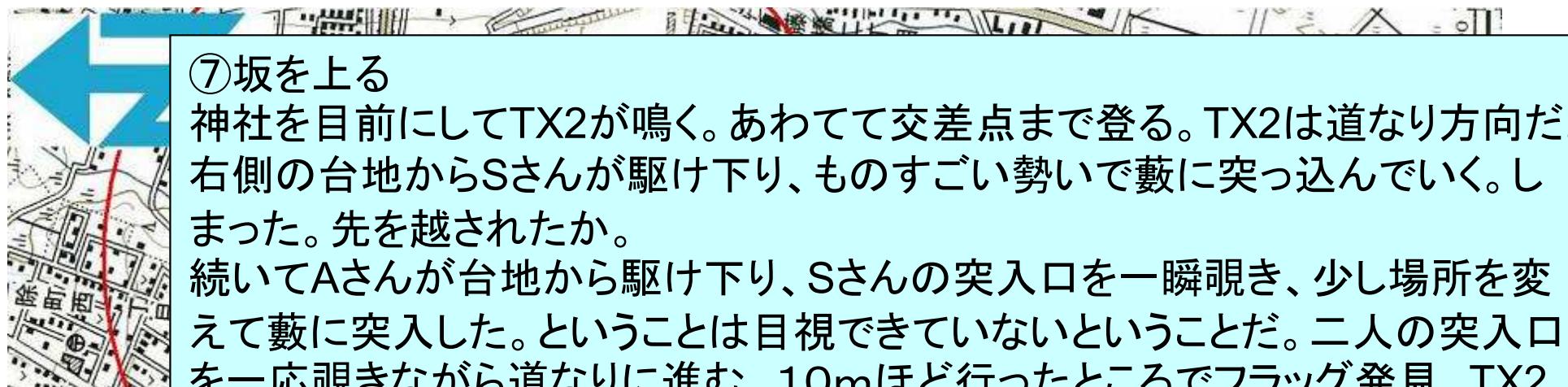
森に到着し、目視探索を始める。後発のSさんに追いつかれ通り過ぎていった。
フラッグを発見。TX1ゲット。

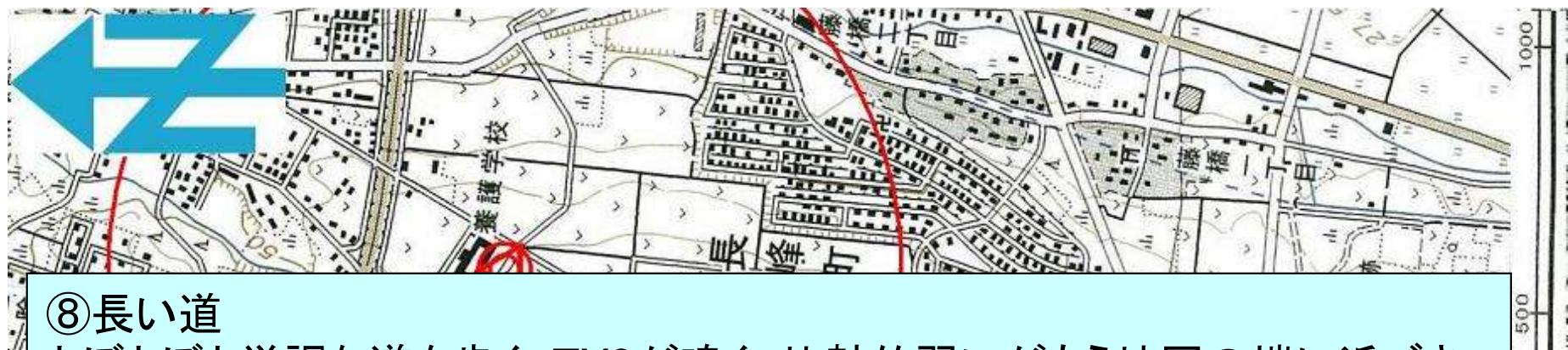




⑥神社仏閣を目指す
ひたすら神社仏閣に向かう。Sさんは追いかけてこない。広い道へ出たのだろうか。

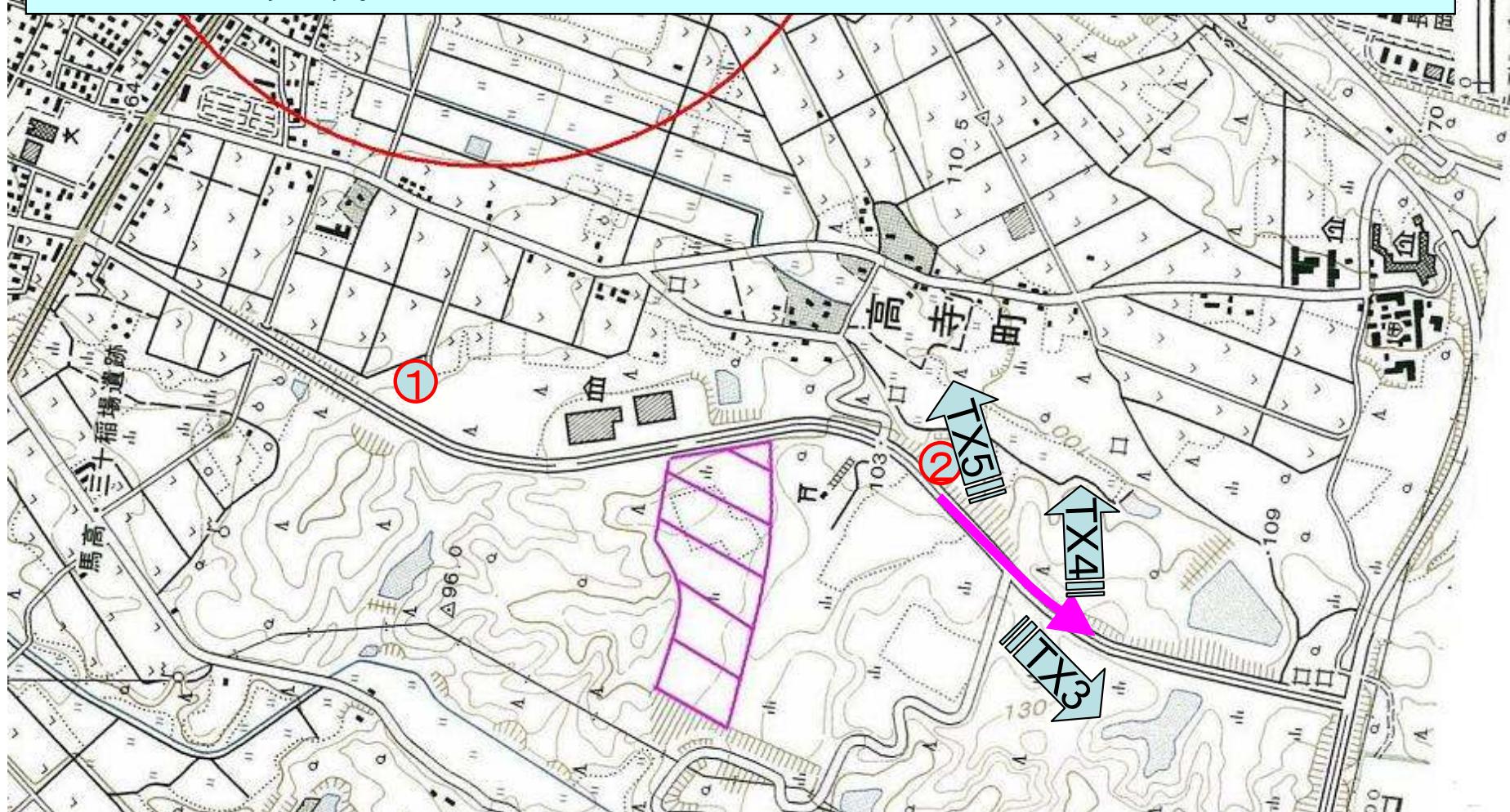


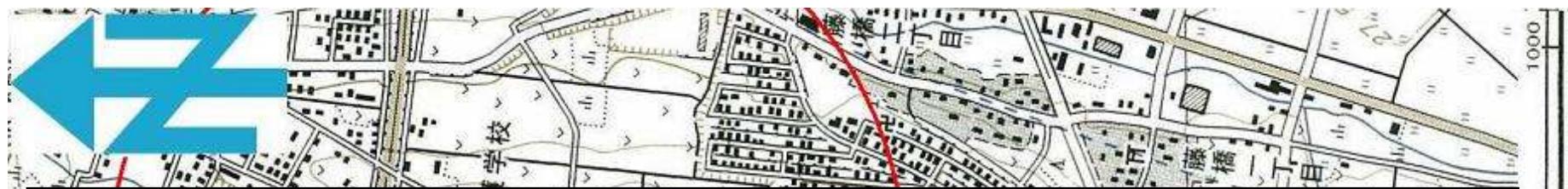




⑧長い道

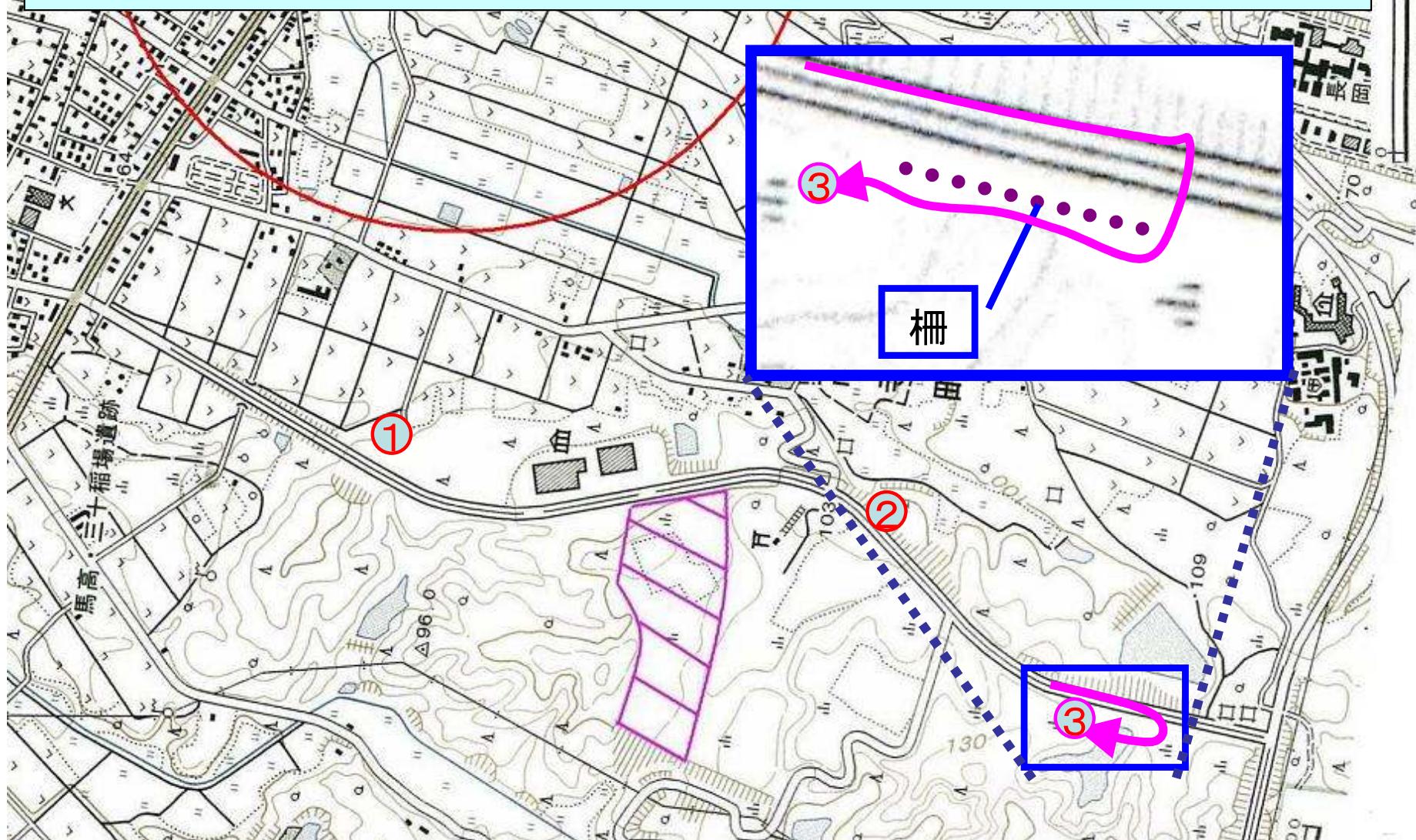
とぼとぼと単調な道を歩く。TX3が鳴く。比較的弱いがもう地図の端に近づきつつある。3.5MHzなので物陰だからという可能性は小さい。きっと出力がでてないのであろう。

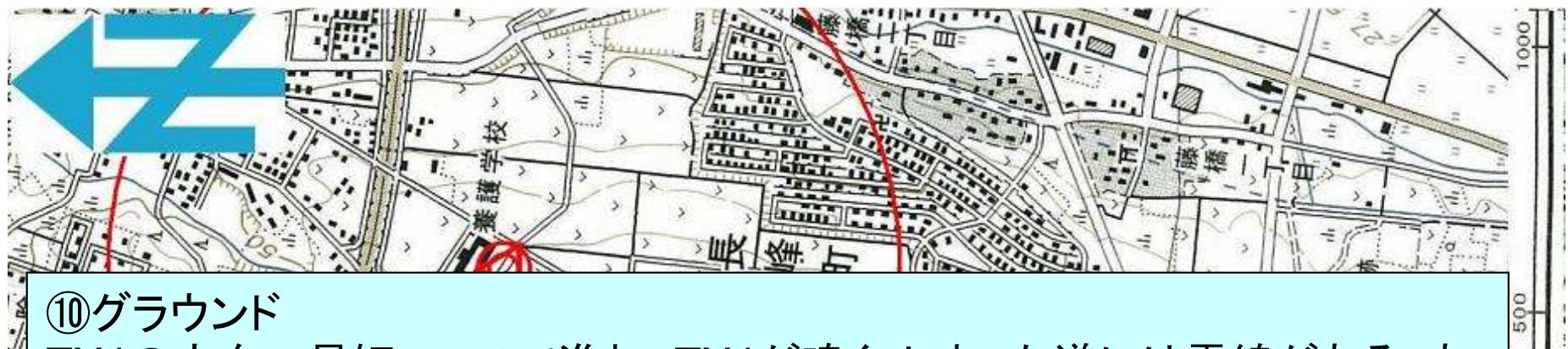




⑨ TX3

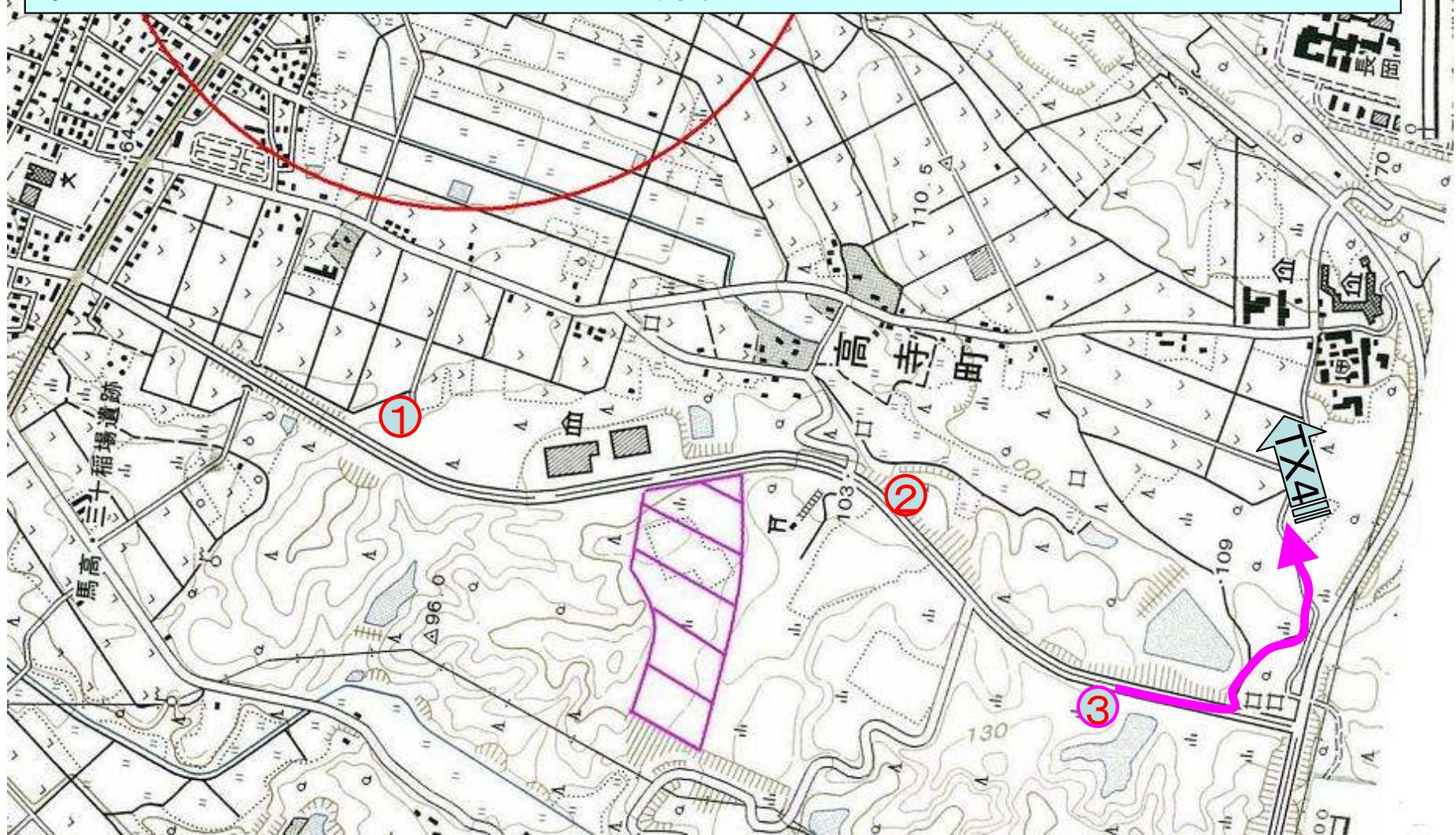
TX3が鳴く。しまった右後ろだ。あわてて道を渡り、柵があつたが丁度端だったので柵の裏側に出た。池だ。池と柵の間を進む。柵が切れるまでTXは無いはずだ。柵が切れたので少しおくに入つてみる。フラッグ発見。TX3ゲット

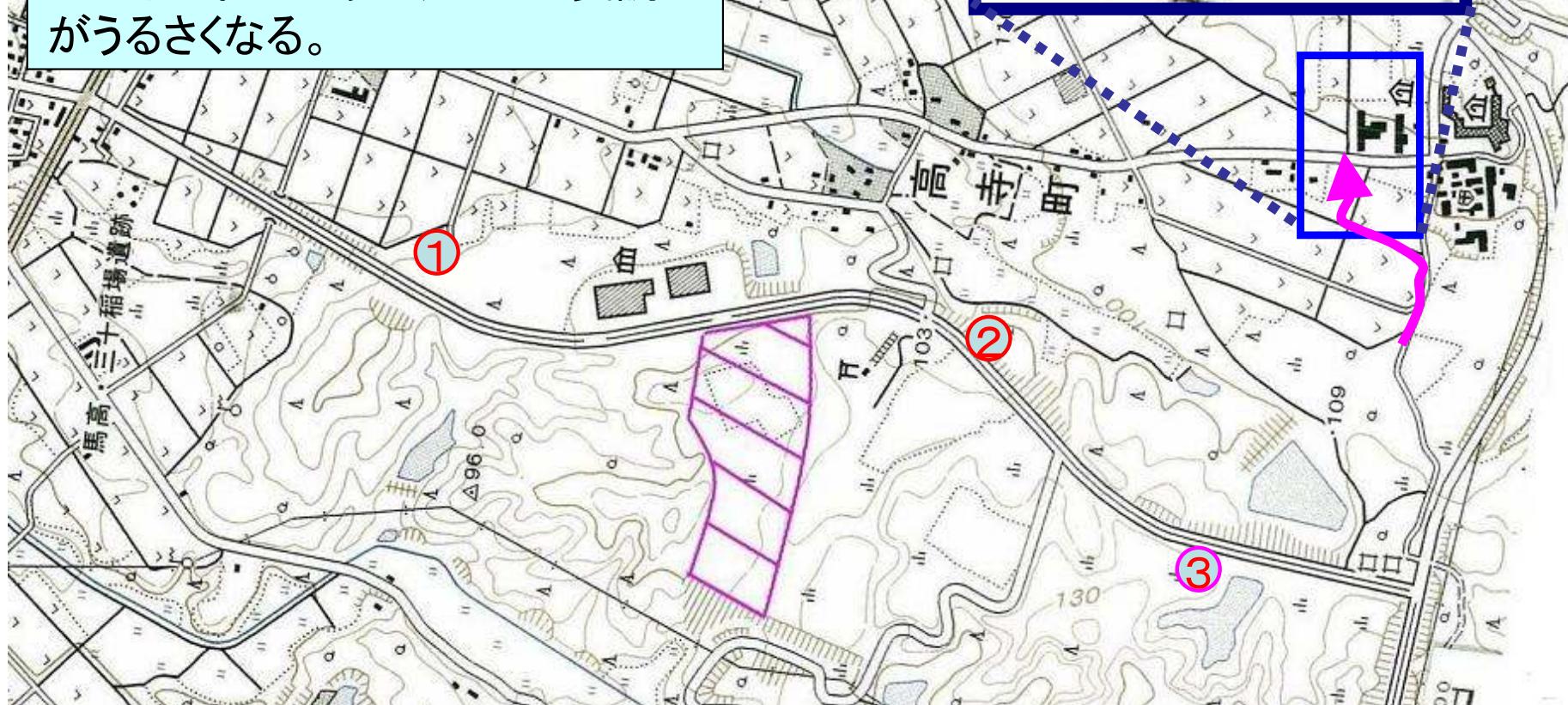
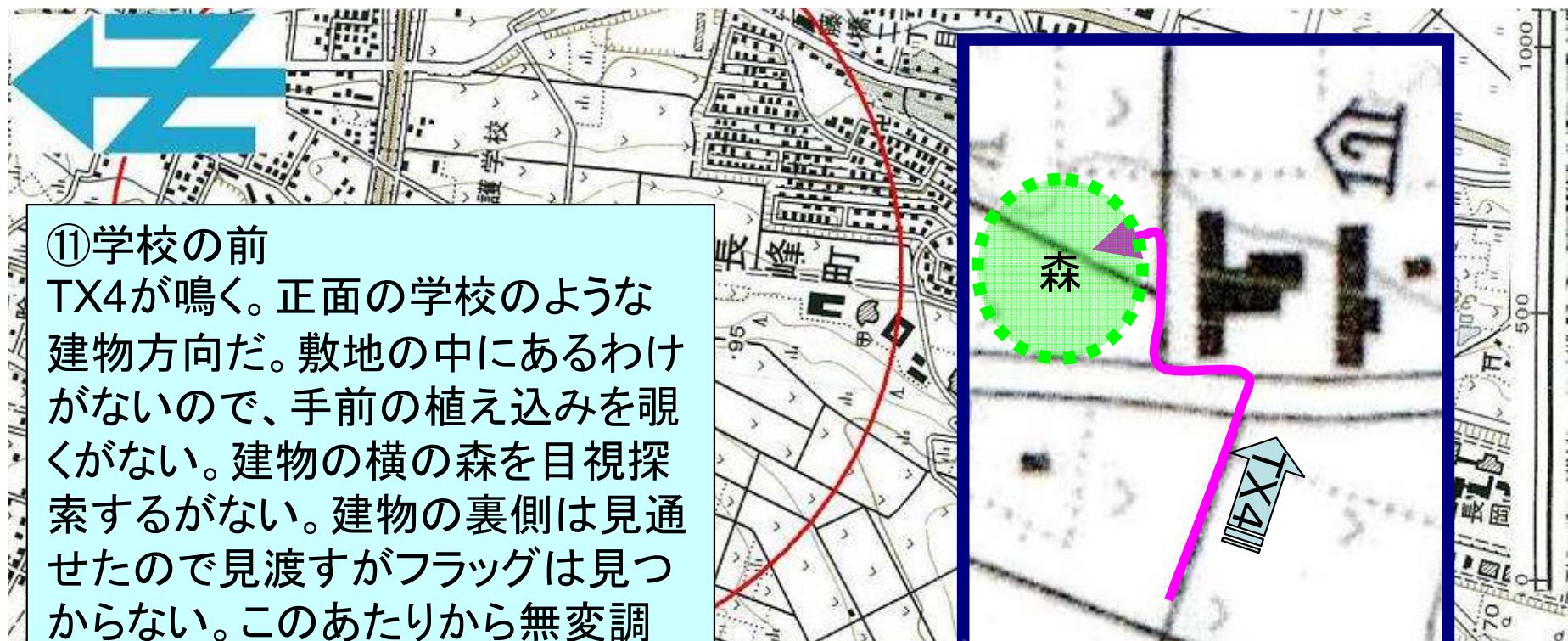


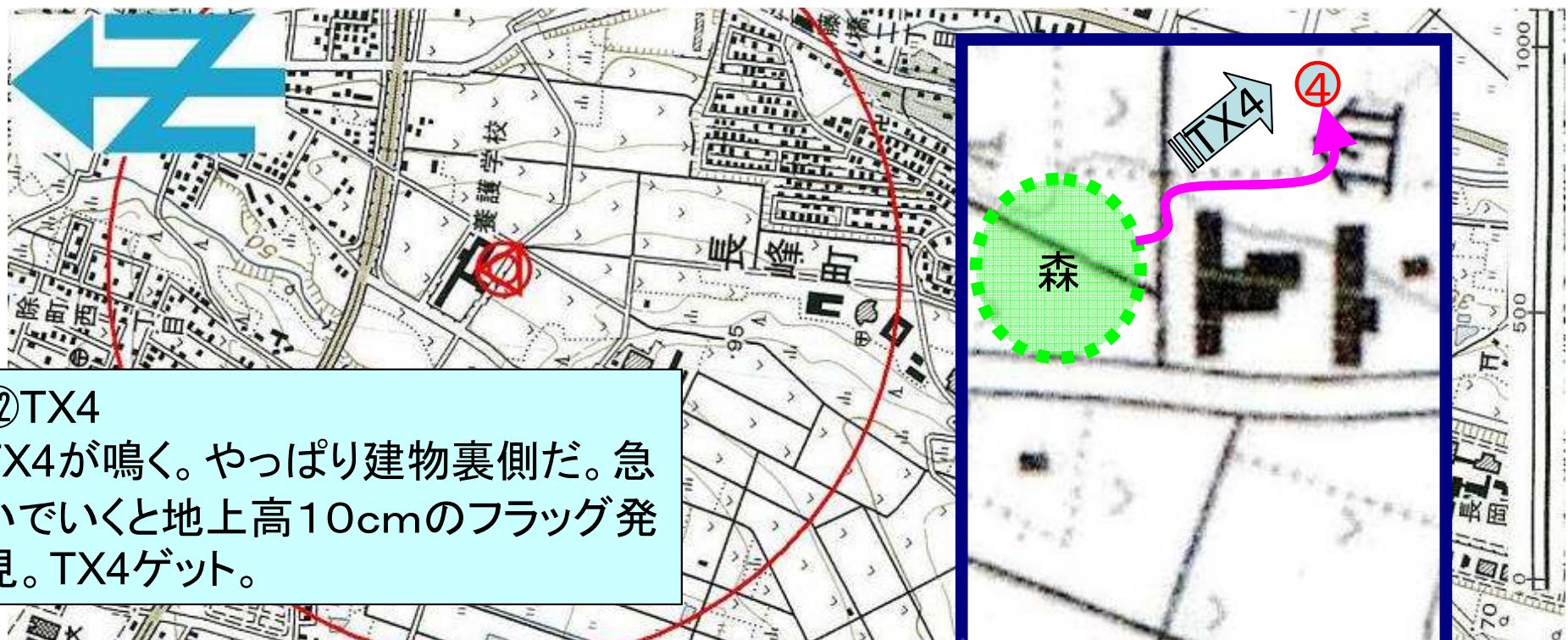


⑩グラウンド

TX4の方向へ最短コースで進む。TX4が鳴く。しまった道には電線がある。あわてて道脇のグラウンドに入って方探。



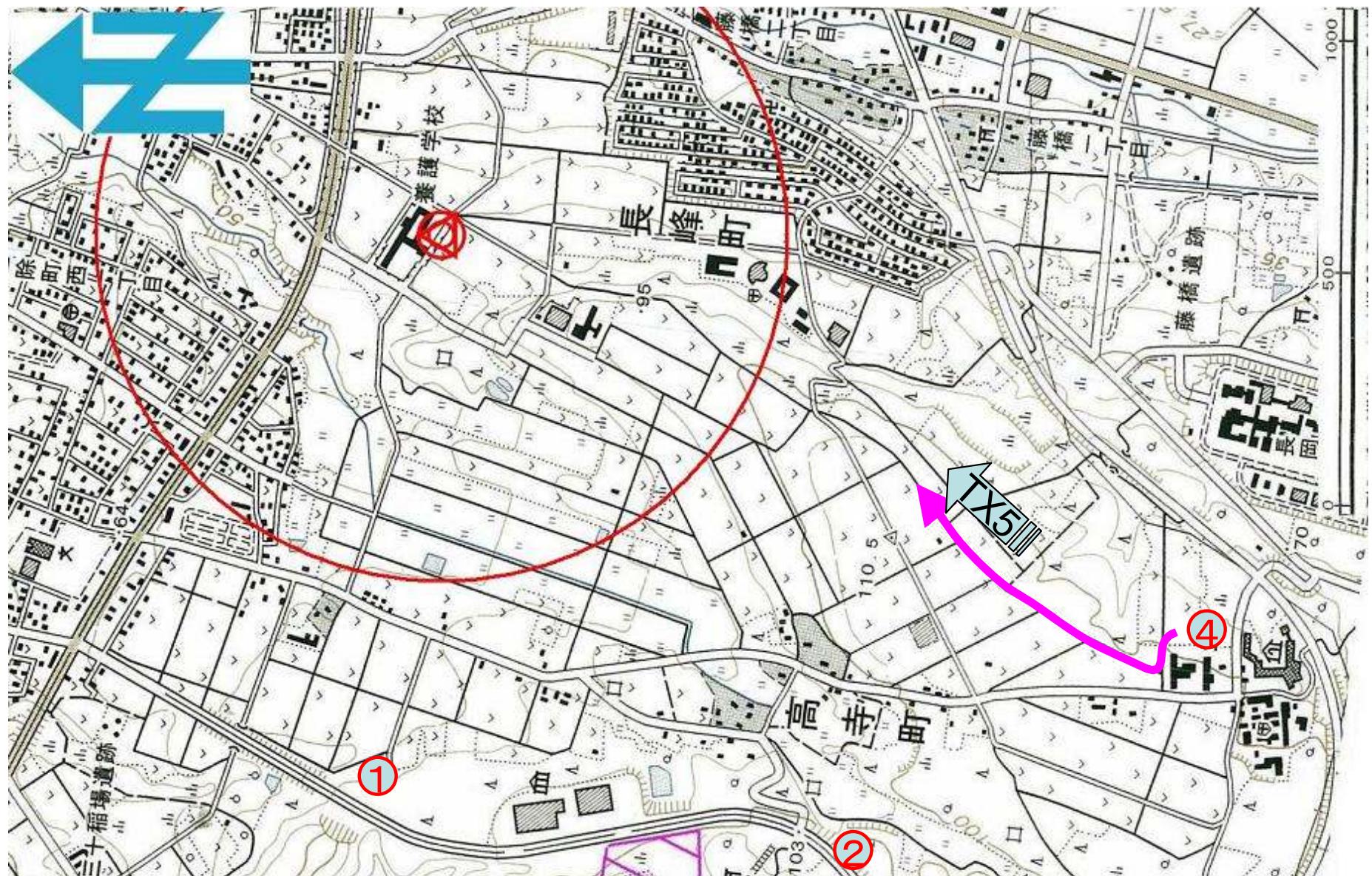




⑫TX4

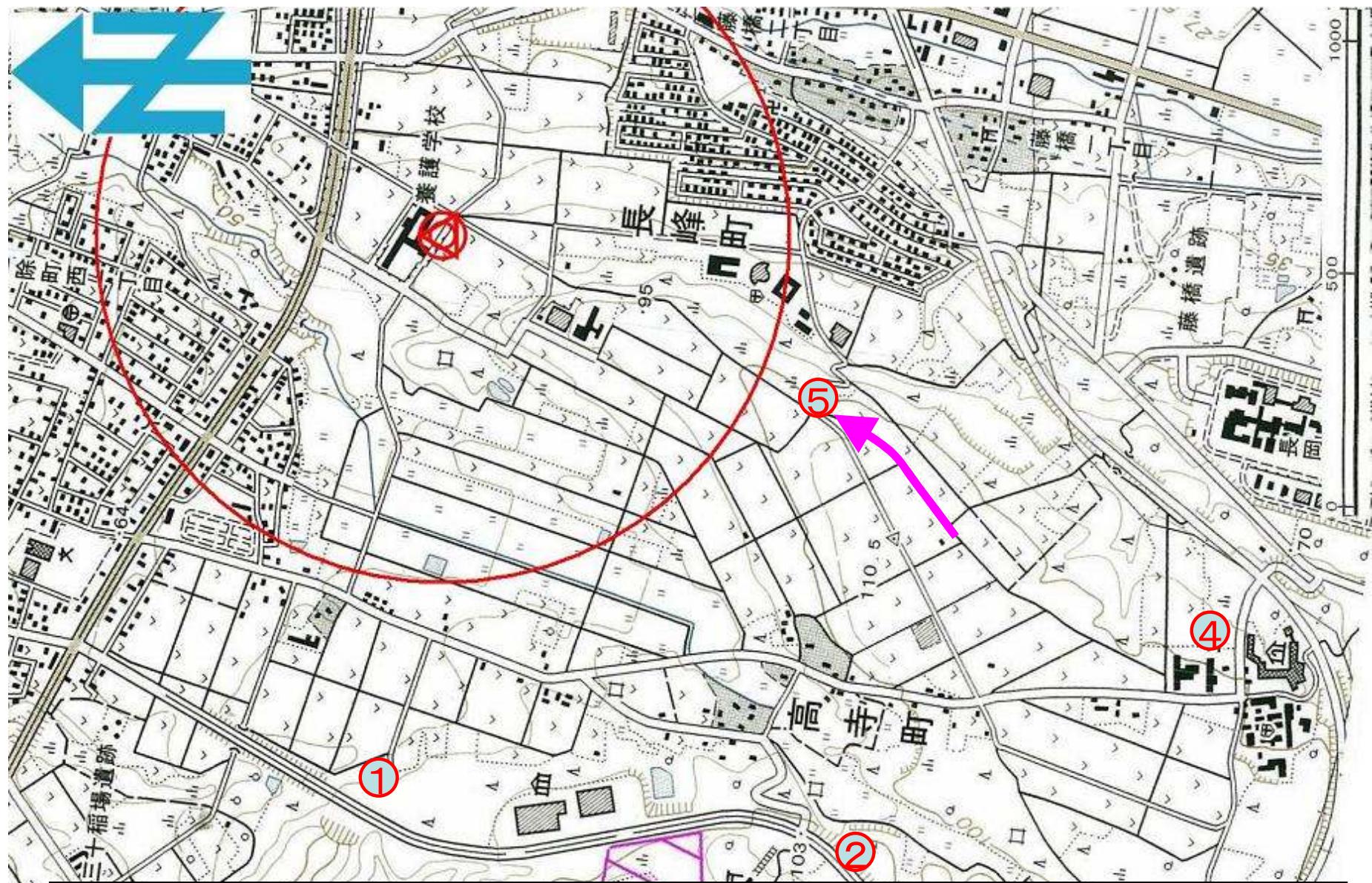
TX4が鳴く。やっぱり建物裏側だ。急いでいくと地上高10cmのフラッグ発見。TX4ゲット。





⑬ゴール方向へ向かう
TX5はゴール方向だ。まっすぐと進む。TX5は完全に道なりだ。

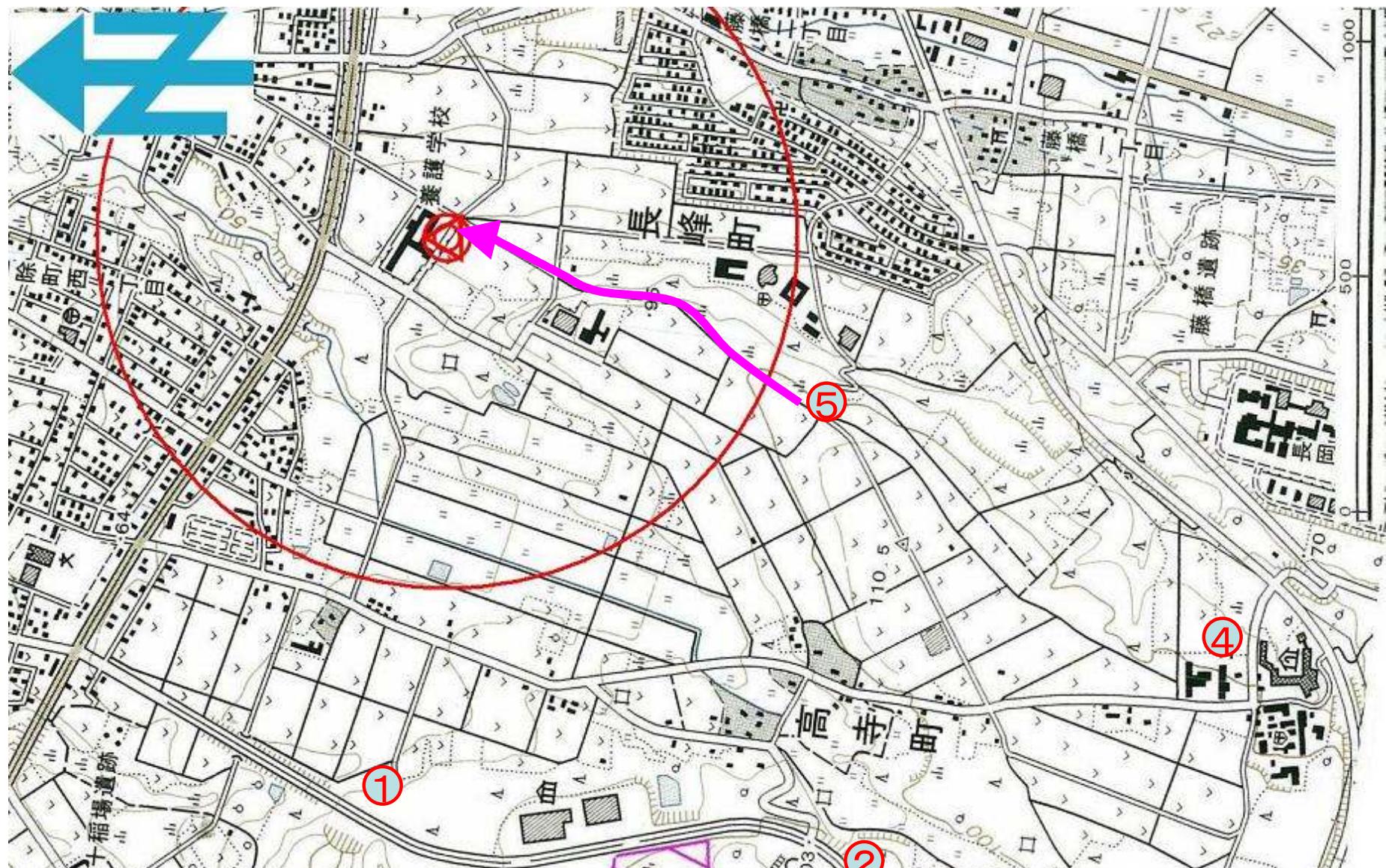




⑯ TX5

前方の茂みで競技者が出入りしている。そこか。近づくとアンテナがばっちり見える。茂みに入るがフラッグがない。ようやく見つけ、TX5ゲット



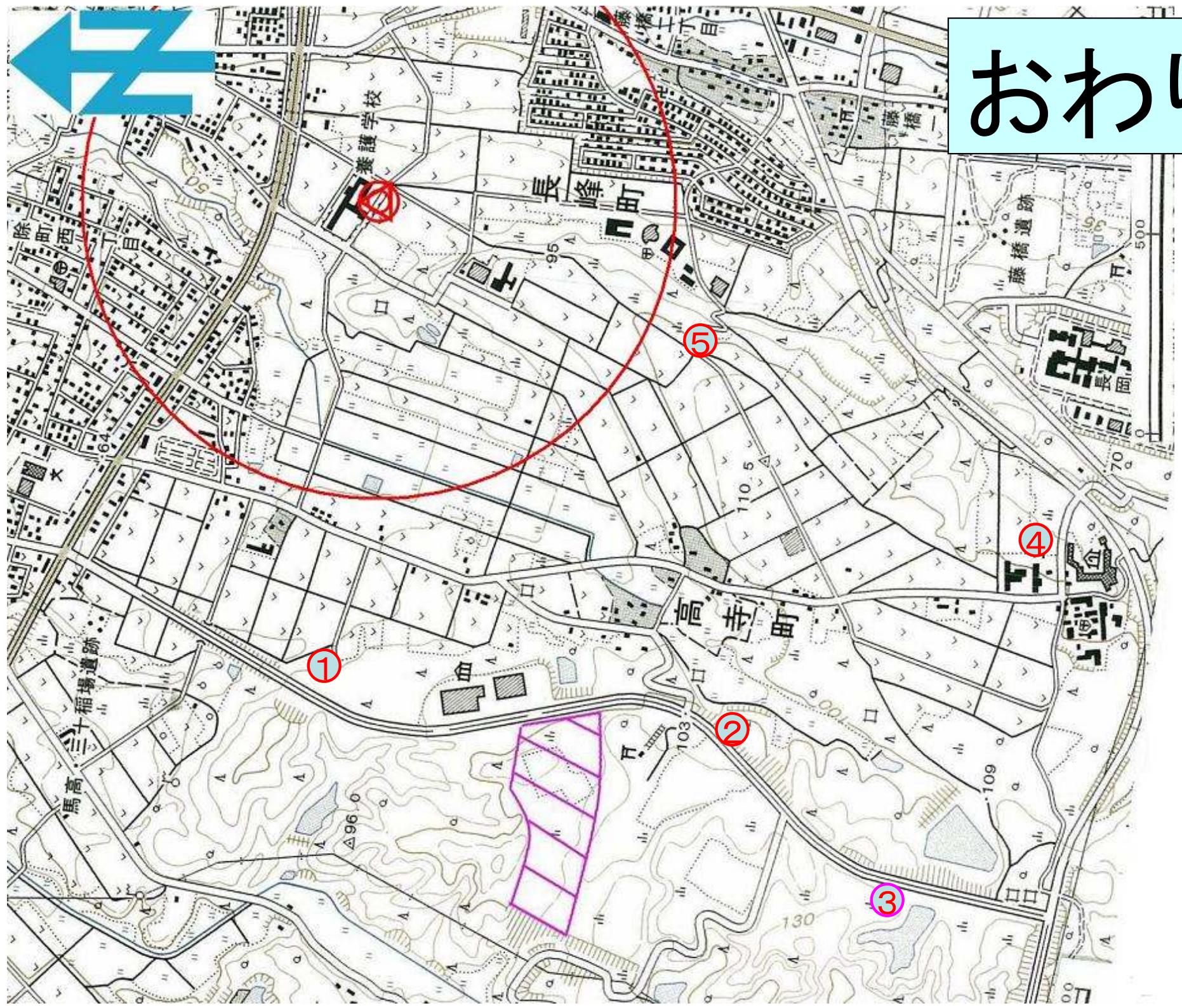


⑯ゴール

そのままゴールへ向かう。支部長自ら誘導されていて、ゴール。



おわり



反省

- ◇今回はあまりにもラッキーだった。TX1/2/3は当たりをつけたところで目視探索でゲットできてしまった。
- ◇一方、TX4探索時にせっかく建物裏方向が方探出来ていたにもかかわらず、横の森を目視探索してしまった。茂みを見ると覗いてみたくなる悪い癖だ。自分の方探結果を信じて、建物裏側をちゃんと見に行くべきだった。